

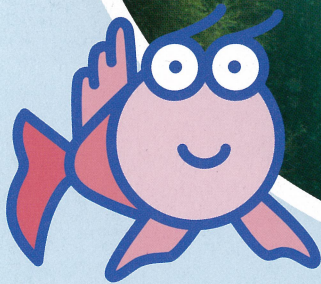
みな また びょう

# はじめて学ぶ水俣病

水俣病について一緒に学習しましょう。



よみがえ  
蘇った水俣湾  
写真：尾崎たまき



中を開く前に、次の質問について  
考えてみよう!

- Q1 水俣病ってどのようにして発生したのかな?
- Q2 水俣病ってどんな病気なんだろう?
- Q3 水俣病が発生してどんな被害があったんだろう?
- Q4 水俣病に対してどんな取り組みがされたのかな?
- Q5 水俣湾の魚介類の水銀は、現在どうなっているの?
- Q6 水俣病から学ぶことは何だろう?

# Q1 水俣病ってどのようにして発生したのかな？

A1

水俣病は、昭和31年(1956年)に熊本県水俣市で最初に確認されました。水俣市にあるチッソ水俣工場は、日本でも大きな化学工場として、様々な化学製品を作っていましたが、その原料(アセトアルデヒド)を作るときに毒性の強い「メチル水銀」が発生し、工場排水と一緒に水俣湾へ流されました。流されたメチル水銀は、魚介類(魚や貝のこ)に取り込まれ、その魚介類を人々が長い間たくさん食べたことにより水俣病が発生しました。

昭和40年(1965年)には、新潟県の阿賀野川流域で水俣病と同じ病気が発生しました。これは、昭和電工鹿瀬工場の排水に含まれていたメチル水銀によるもので、新潟水俣病(第二水俣病)と呼ばれています。

図1 食物連鎖図

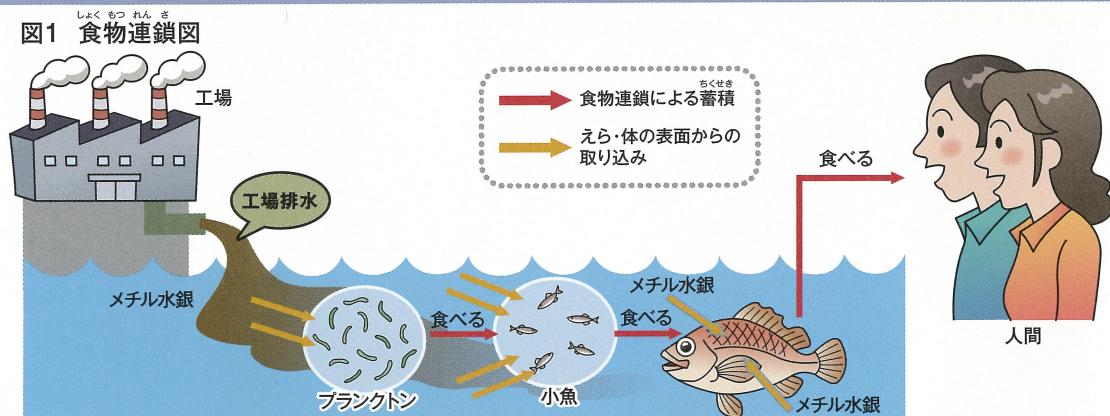


図2 水俣病の発生地域



【環境省環境保健部 水俣病その歴史と対策2002】から一部改編

## メチル水銀とは？

水銀は、「金属水銀」、「無機水銀」、そして「有機水銀」に分けることができます。水俣病を引き起こしたメチル水銀は有機水銀の1つで、大変強い毒性を持っており、以前は農薬などに使われていました。金属水銀は、もっとも身近なところに存在しており、水銀体温計や蛍光灯などに使用されています。無機水銀は、赤色塗料の原料として一部の漆器や神社に使用されています。

